

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況【資料2】

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況

◎ 第8期計画の目標設定

第7期計画で設定した3つの課題への取組に対する評価、高齢者の現状、改正後の介護保険制度の方向性等から、第8期計画の目標を以下の6つに設定しました。

| | |
|--|---------------------------------|
| 目標Ⅰ | 地域における連携強化 ⇒ 3頁～ |
| 周囲とのつながりの弱い高齢者をはじめとする市民やその家族を地域全体で支えるため、地域における関係機関や多職種、住民間の一層の連携強化を目指します。 | |
| 目標Ⅱ | 高齢者を支える生活支援体制の構築 ⇒ 5頁～ |
| 地域住民が互いに尊重し合いながら、社会参加・共生する地域社会の実現に向けて、地域の多様な主体による支え合いに向けた取組を一層推進するほか、権利擁護、自然災害や感染症対策に係る体制を整備します。 | |
| 目標Ⅲ | 介護予防・健康づくりの推進 ⇒ 7頁～ |
| 身近な地域で心身や生活の状況に合わせた介護予防に取り組むことができるよう、介護予防の普及・啓発を進めるとともに、高齢者の生きがい活動・社会参加を促進します。また、高齢者の健康づくりに関係部門と連携して取り組みます。 | |
| 目標Ⅳ | 認知症高齢者支援の充実 ⇒ 16頁～ |
| 認知症の発症予防・進行抑制とともに、認知症になっても本人やその家族が地域とともに安心して暮らせる社会に向けた支援を充実させます。 | |
| 目標Ⅴ | サービスの充実と暮らしの基盤の整備 ⇒ 19頁～ |
| 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、介護保険サービスと高齢者福祉サービスを充実させるとともに、高齢者向け住まいを計画的に整備していきます。また、幅広い分野での人材確保及び育成を国・県と連携して進めます。 | |
| 目標Ⅵ | 安定した介護保険制度の運営 ⇒ 26頁 |
| 情報分析に基づく給付適正化を実施し、利用者が真に必要とする過不足のないサービス提供を促すことで、効率的かつ安定的な介護保険事業の運営を目指します。 | |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況

◎ 評価の方法

① 中目標(※1)を測る指標の評価 ⇒次頁以降の表を参照

| 評価(配点) | 一次評価(増減に対する達成度) | | | 二次評価(担当) |
|------------------|-----------------|-----|-----|----------------------------------|
| | R3 | R4 | R5 | R3~R5 |
| A 順調に進んでいる(10点) | 30% | 60% | 90% | 一次評価に基づき、 各事情(※2)を考慮して二次評価を実施 |
| B 概ね順調に進んでいる(8点) | 20% | 45% | 75% | |
| C 少し遅れている(6点) | 15% | 30% | 45% | |
| D 遅れている(4点) | 0% | 0% | 0% | |

※1「中目標」とは、大目標(計画記載の目標Ⅰ～Ⅵ)内の目標値のある項目で、大目標への達成状況を測るために設定したもの。

※2 (例)新型コロナウイルス感染拡大等により予定事業が実施できなかったものの、代替事業を実施するなどして目標に向けて前進したと評価したもの。

(例)目標に達したものの新たな課題がでてきたもの

(例)アンケート結果を指標にしているが基準となる令和2年度結果がないもの 等

② 中目標の評価 ⇨ ①の平均点により評価

| 評価 | 配点 |
|--------------|-------|
| A 順調に進んでいる | 8~10点 |
| B 概ね順調に進んでいる | 6~8点 |
| C 少し遅れている | 4~6点 |
| D 遅れている | 0~4点 |

③ 大目標(計画記載の目標Ⅰ～Ⅵ)の評価

⇨ 中目標の評価(②)を元に総合的に評価

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況

1 目標 I 地域における連携強化

※第8期まえばしスマイルプラン 46頁～を参照

1) (中目標) 地域における相談・見守り体制の充実、連携強化

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|---------------------------------|----|-------|-------|----------------|-----------|-------|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | 評価 |
| 地域包括支援センターの 相談対応実件数 (件/年) | 目標 | — | 7,200 | C | 7,250 | 7,250 |
| | 実績 | 7,011 | 6,675 | | ※10月末集計予定 | — |
| 地域包括支援センターの 認知度 (%) | 目標 | — | 40 | C | 45 | 50 |
| | 実績 | — | 33 | | ※年度末集計 | — |
| 地域ケア会議において 明確化された地域課題数 (件/年) | 目標 | — | 5 | B | 5 | 5 |
| | 実績 | 1 | 3 | | 1 | — |

➤ 評価

| | |
|-----|----|
| R3 | |
| 平均点 | 評価 |
| 6.7 | B |

2) (中目標) 医療と介護の連携強化

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|--|----|-------|-------|----------------|-------|-----|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | 評価 |
| おうちで療養相談センター まえばしへ初めて相談した 専門職の人数 (人/年) | 目標 | — | 25 | A | 25 | 25 |
| | 実績 | 60 | 77 | | 26 | — |
| 認知症初期集中チームへの 医療・介護関係者からの依 頼件数 (件/年) | 目標 | 10 | 12 | A | 13 | 14 |
| | 実績 | 10 | 12 | | 7 | — |
| ACPと私の人生ノートに関する 講習会の受講者数 (人) | 目標 | 13 | 150 | B | 200 | 250 |
| | 実績 | 13 | 65 | | 270 | — |

➤ 評価

| | |
|-----|----|
| R3 | |
| 平均点 | 評価 |
| 9.3 | A |

※第8期スマイルプランには「『累計』受講者数」と記載されているが、誤りのため一部文言を訂正。
(誤)累計受講者数 → (正)受講者数

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況

1 目標 I 地域における連携強化

※第8期まえばしスマイルプラン 46頁～を参照

◎主な課題と対策

1) (中目標) 地域における相談・見守り体制の充実、連携強化

「地域包括支援センターの機能強化」

- (課題) ・相談内容の複雑化への対応。
・地域包括支援センターの認知度の向上。
- (対策) ・各種研修会の受講による職員の対応力向上。
・各行事等における地域包括支援センターの周知。
・感染予防対策を行った上での活動や、広報活動等の実施。

「地域ケア会議による多職種や地域との連携推進」

- (課題) 各地域包括支援センターにて抽出した地域課題の取り扱い。
- (対策) 地域ケア会議部会を活用し、抽出した地域課題の取り扱いを定める。

2) (中目標) 医療と介護の連携強化

「在宅医療・介護連携支援体制の充実」

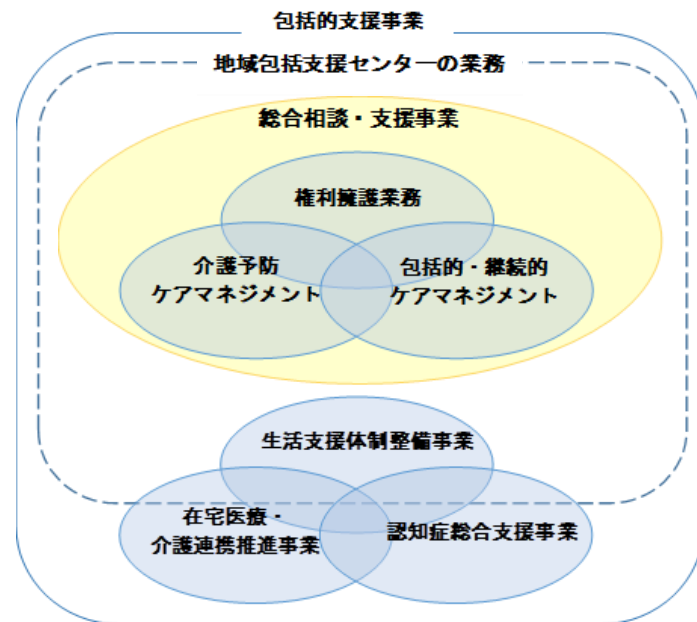
- (課題) 医師、MSW(医療ソーシャルワーカー)や病院連携室からの相談が少ない。
- (対策) 新たに作成した、おうちで療養相談センターまえばしのパンフレットを配布。

「認知症に関する取組の強化」

- (課題) 市へ相談のある医院の固定化や地域包括支援センターごとの依頼件数の偏り。
- (対策) ・前橋市医師会等、関係機関での事業周知により、新規の依頼ルートを確保。
・医療・介護関係者からのアンケート結果を踏まえた課題分析。

「看取りに関する取組の強化」

- (課題) 対面での受講を基本とした講習会の開催方法。
- (対策) ・地域包括支援センターや他専門職へ周知し、少人数かつ感染対策に考慮した講習会を実施。
・市民へは社協と連携しサロン(高齢者の集いの場)の再開状況を確認しながら、慎重を期して講習会を開催。



※地域包括支援センターの各業務
と各事業の関係性
(第8期スマイルプラン 47頁)

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

2 目標II 高齢者を支える生活支援体制の構築

※第8期まえばしスマイルプラン 51頁～を参照

1) (中目標)地域の多様な主体による支え合いづくりの推進

・生活支援体制整備の推進に関する取組状況

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|----------------------|-----|-------|-------|----------------|-------|-----|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | 評価 |
| 町社協設立モデル事業の 累計申請数 | (件) | 目標 | 40 | B | — | — |
| | | 実績 | 20 | 35 | — | — |
| 支え合い活動助成金の累計申請数 | (件) | 目標 | — | D | 50 | 60 |
| | | 実績 | — | — | 0 | — |
| 地域資源情報の累計把握数 | (件) | 目標 | 740 | D | 760 | 780 |
| | | 実績 | 715 | 695 | 696 | — |

➤ 評価

| R3 | |
|-----|----|
| 平均点 | 評価 |
| 5.3 | C |

2) (中目標)利用者のサービス選択の自由と権利擁護の仕組みづくり

・成年後見制度の利用促進、高齢者虐待防止等への対応に関する取組状況

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|---------------------------------------|-------|-------|-------|----------------|-----------|-------|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | 評価 |
| 地域包括支援センターにおける 成年後見制度に関する延べ相談件数 | (件/年) | 目標 | 130 | A | 140 | 150 |
| | | 実績 | 178 | 211 | ※10月末集計予定 | — |
| 成年後見制度 市長申立て相談件数 | (件/年) | 目標 | 6 | B | 7 | 8 |
| | | 実績 | 10 | 27 | 12 | — |
| 認知症高齢者等成年後見制度利用支援事業 後見人等の報酬費用の補助件数 | (件/年) | 目標 | 20 | A | 20 | 22 |
| | | 実績 | 15 | 26 | 8 | — |
| 地域包括支援センターにおける高齢者虐待に 関する延べ相談件数 | (件/年) | 目標 | 1,600 | A | 1,700 | 1,800 |
| | | 実績 | 2,161 | 2,407 | ※10月末集計予定 | — |
| 高齢者虐待に関する通報件数 | (件/年) | 目標 | 85 | B | 90 | 90 |
| | | 実績 | 85 | 72 | 37 | — |

➤ 評価

| R3 | |
|-----|----|
| 平均点 | 評価 |
| 9.2 | A |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

2 目標Ⅱ 高齢者を支える生活支援体制の構築

※第8期まえばしスマイルプラン 51頁～を参照

◎主な課題と対策

1) (中目標)地域の多様な主体による支え合いづくりの推進

「生活支援体制整備の推進」

- (課題) ① 先行して市内23地区でモデル町社協の設立を進めているが、まだモデル町社協がない地区がある。
② 多職種間で情報を共有できる地域資源情報連携システムの情報掲載件数が増えておらず、ケアマネジャーの利用も進んでいない。
- (対策) ① 前橋市社会福祉協議会コーディネーターと協働し、モデル町社協がない5地区に対し、重点的に説明、意見交換を行う。
② 居宅介護支援事業所から地域包括支援センターへの情報提供を促す。
・日常生活圏域ごとにグループを作成ケアマネジャーに対する活用事例等、定期的な情報発信を実施。

2) (中目標)利用者のサービス選択の自由と権利擁護の仕組みづくり

「成年後見制度の利用促進」

- (課題) ① 地域包括支援センター(1次窓口)と、二次窓口である中核機関(2次窓口「あんしんサポートまえばし」)との連携不足。
② 市長申立ての要請があるケースは、複合的な課題を抱えており、制度の利用だけでは生活が安定しないケースが多い。
③ 成年後見制度の利用助成についての認知はされているものの、担当窓口が分かりづらい。
- (対策) ① 地域包括支援センターと中核機関において、共通様式の相談シートを用い、スムーズな連携を図る。
② 複合的な課題を抱えたケースについては、方針決定会議に諮ることで、利用者の意思決定支援の方法を検討する。
③ 他市の状況を参考に調査し、成年後見制度利用助成の周知方法について検討する。

「高齢者虐待防止等への対応」

- (課題) ① 虐待の早期発見、深刻な状況になることを未然に防ぐための仕組み作りが必要。
② 高齢者虐待の発見から対応までの流れについて、各地域包括支援センターごとに認識の差がある。
- (対策) ① 要介護認定調査を虐待発見の方法の一つと捉え、調査時に虐待の疑いがある場合、地域包括支援センターへ通報してもらう。
② 高齢者虐待対応の流れについて、年に1度程度、振り返りの機会を持ち、対応方法の統一を図る必要がある事項について、各地域包括支援センターへ周知する。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 60頁～を参照

1) (中目標)介護予防の推進

ア 介護予防・生活支援サービス事業に関する取組状況

| 目標項目 | | | | 第7期 | 第8期 | | | |
|-----------------------------|-------|----|-----|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | | | | | 評価 | (上半期) | | |
| 訪問型サービス | | | | | | | | |
| 訪問型サービスA 利用者数 | (人/月) | 目標 | — | 35 | D | 41 | 47 | |
| | | 実績 | 30 | 22 | | 16 | — | |
| 訪問型サービスC 利用者数 | (人/年) | 目標 | — | 5 | B | 5 | 5 | |
| | | 実績 | 7 | 11 | | 5 | — | |
| 通所型サービス | | | | | | | | |
| 通所型サービスA 利用者数 | (人/月) | 目標 | — | 180 | D | 180 | 180 | |
| | | 実績 | 145 | 124 | | 118 | — | |
| 通所型サービスC 参加実数 | (人/年) | 目標 | — | 96 | C | 120 | 132 | |
| | | 実績 | 40 | 38 | | 39 | — | |
| その他の生活支援サービス(配食サービス) | | | | | | | | |
| 実利用者数 | (人/年) | 目標 | — | 520 | C | 530 | 530 | |
| | | 実績 | 503 | 477 | | ※10月末集計予定 | — | |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 62頁～を参照

1) (中目標)介護予防の推進

イ 一般介護予防事業

i 介護予防把握事業に関する取組状況

| 目標項目 | | | 第7期 | | 第8期 | | |
|----------------|-------|----|-------|-------|-----|----------------|-------|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 評価 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 |
| 介護予防事業の対象者の把握数 | (人/年) | 目標 | — | 3,500 | D | 3,722 | 3,747 |
| | | 実績 | — | 172 | | ※10月末集計予定 | — |

ii 介護予防普及啓発事業に関する取組状況

| 目標項目 | | | 第7期 | | 第8期 | | |
|---------------------|-------|----|--------|--------|-----|----------------|--------|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 評価 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 |
| ピンシャン！元気体操教室 | | | | | | | |
| 延べ参加者数 | (人/年) | 目標 | — | 30,000 | B | 30,000 | 50,000 |
| | | 実績 | 26,188 | 34,346 | | ※10月末集計予定 | — |
| 高齢者健康教育(教室) | | | | | | | |
| 市主催・老セン:延べ利用者数 | (人/年) | 目標 | — | 3,700 | C | 3,700 | 5,000 |
| | | 実績 | 2,076 | 3,126 | | ※10月末集計予定 | — |
| 高齢者健康相談 | | | | | | | |
| 市主催・老セン:延べ利用者数 | (人/年) | 目標 | — | 9,000 | C | 9,000 | 9,000 |
| | | 実績 | 5,534 | 4,973 | | ※10月末集計予定 | — |
| 一般介護予防教室 | | | | | | | |
| 参加者数 | (人/年) | 目標 | — | 1,000 | D | 1,000 | 1,500 |
| | | 実績 | 456 | 575 | | ※10月末集計予定 | — |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 64頁～を参照

1) (中目標)介護予防の推進

イ 一般介護予防事業

iii 地域介護予防活動支援事業に関する取組状況

| 目標項目 | | | 第7期 | 第8期 | | | |
|------------------------|----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | | | | 評価 | (上半期) | | |
| ピンシヤン体操クラブ | | | | | | | |
| 体操クラブ活動数 (クラブ) | 目標 | — | 70 | C | 73 | 76 | |
| | 実績 | 67 | 66 | | 64 | — | |
| はつらつカフェ | | | | | | | |
| はつらつカフェ設置数 (か所) | 目標 | — | 27 | C | 28 | 29 | |
| | 実績 | 26 | 26 | | 28 | — | |
| 介護予防サポーター育成 | | | | | | | |
| 介護予防サポーター活動者数 (人/年) | 目標 | — | 750 | D | 800 | 850 | |
| | 実績 | 774 | 736 | | 738 | — | |
| 認知症サポーター養成 | | | | | | | |
| 認知症サポーター養成数 (人/年) | 目標 | — | 800 | A | 900 | 1,000 | |
| | 実績 | 909 | 1,314 | | 875 | — | |
| 介護予防活動ポイント制度 | | | | | | | |
| 活動ポイント数(活動数) (ポイント) | 目標 | — | 4,400 | C | 6,600 | 11,000 | |
| | 実績 | 2,713 | 4,429 | | — | — | |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 67頁を参照

1) (中目標)介護予防の推進

イ 一般介護予防事業

iv 地域リハビリテーション活動支援事業に関する取組状況

| 目標項目 | | 第7期 | 第8期 | | | |
|--|----|-------|-------|----|----------------|-------|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 |
| | | | | 評価 | | |
| 地域ケア会議・通いの場でリハビリ専門職 が関わった対象者数 (人/年) | 目標 | — | 350 | C | 600 | 880 |
| | 実績 | 307 | 408 | | ※10月末集計予定 | — |

➤ 1) (中目標)介護予防の推進 の評価

| R3 | |
|-----|----|
| 平均点 | 評価 |
| 5.9 | C |



(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 60頁～を参照

1) (中目標)介護予防の推進

◎主な課題と対策

ア 介護予防・生活支援サービス事業

「訪問型サービスA」

(課題) 地域包括支援センターと居宅介護支援事業所に利用促進のチラシを送付したが、利用者数が減少。

(対策) 利用者の多い他市町村からの情報収集や事業所等からの聞き取りを行い、課題整理した上で今後の対策を検討。

「訪問型サービスC」

(課題) 本人とその家族、介護支援専門員などで様々なニーズがあり、サービスとマッチングすることが困難。

(対策) 利用者へのモニタリング後に介護支援専門員へアンケートを行った。アンケート結果を評価・改善につなげていく。

「通所型サービスA」

(課題) 令和3年度報酬改定で利用回数上限を週1回から2回に増やすとともに、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所へのチラシ、広報まえばしの折り込みチラシに情報を掲載したものの、利用者数が減少。

(対策) 引き続き、周知による利用促進とともに、利用できる事業所が増えるよう開設の相談があった際は連携して対応する。

「通所型サービスC」

(課題) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、時間を短縮し少人数のグループに分けて個別の健康状態の確認や相談を行ったものの、教室自体が中止となり、参加者数が減少。

(対策) 感染状況に関わらず開催できる形式(開催時間の短縮、訪問等)でサービスの継続的な提供。

「配食サービス」

(課題) ①事業の目的や条件を明確にするため実施要綱を変更したため、当面、問い合わせが増えると予想される。

②低栄養で利用している人が、サービス継続の際に「買い物・調理困難」での利用に切り替えてしまう場合、体重・BMIの推移が確認できない。

③利用希望者が減少している。

(対策) ①変更点や手続き等を市ホームページ等で周知を図るとともに、問い合わせや審査に丁寧な対応を行う。

②低栄養での利用があった場合は、体重・BMIの推移を随時確認するよう周知。

③利用者や配食事業者に分かりやすい手続き方法について検討を続ける。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 62頁～を参照

1) (中目標)介護予防の推進

◎主な課題と対策

Ⅰ 一般介護予防事業

ⅰ 介護予防把握事業

(課題) 体操教室申込者へのアンケート(基本チェックリスト、フレイルチェックなど)結果からフレイル傾向のある高齢者等を把握し、介護予防教室の案内や教室等への参加を促したが、支援が必要な高齢者をより多く、早期に把握する必要がある。

(対策) 再開したひとり暮らし高齢者調査の結果から、事業対象者及び健康や生活に不安のある高齢者を把握し、訪問・電話等の個別支援。

ⅱ 介護予防普及啓発事業

(課題) 新型コロナウイルス感染拡大により、教室等の開催が延期や中止となり、利用者が減少。

(対策)

「ピンシャン！元気体操教室」

- ・オンライン開催の継続。
- ・人数制限や予約制など感染対策を徹底して開催。
- ・体操の動画配信、ラジオ放送、CD配付の継続。

「高齢者健康教育」

- ・問い合わせ時や介護予防サポーター定例会で、コロナ禍でも開催している団体の感染症対策などの取り組み方を伝え、開催を促す。
- ・人数制限や時間短縮などを行いながら実施。

「高齢者健康相談」

- ・短時間の相談や、電話による相談の継続。

「一般介護予防教室」

- ・開催回数や内容の見直し
- ・オンライン開催

ⅲ 地域介護予防活動支援事業

「ピンシャン体操クラブ」

(課題) 体操クラブの実施要綱を改正し、既存クラブが活動継続しやすい条件に変更するとともに、担い手向けに活動状況のアンケートを実施したが、コロナ禍で会場の利用制限や担い手不足により、活動継続が困難な団体があった。

(対策)

- ・屋外で活動が可能な「ピンシャン元気ひろば」を継続して推奨。
- ・実施要綱を改正し、担い手の介護予防サポーターが不在となっても、一定の条件で登録を継続できるようになったことを広く周知。

「介護予防サポーター育成」

(課題)

- ・感染予防のため、養成研修の参加人数や時間の制限が求められた。
- ・地区により登録数にばらつきがある。
- ・サポーターのモチベーション維持

(対策)

- ・オンライン研修を継続実施。
- ・関係団体等と協力しサテライト会場を設け、養成研修を分散して開催。
- ・登録者の少ない地区を重点地区とし、地域のニーズに合わせて公民館や神社の社務所等を会場にして養成研修を開催。
- ・「スマートフォン使いこなし講座」により、高齢者のデジタルデバインド解消を目的とした「デジタル活用サポーター」を養成し、新たな活躍の場を作り出していく。

ⅳ 地域リハビリテーション活動支援事業

(課題) 新型コロナウイルス感染拡大により、「通いの場」の活動自粛や、施設や病院からリハビリ専門職の派遣が難しくなり、オンラインによる研修会等を実施。対面での関わりの機会は減少しているため代替策の検討が必要。

(対策) 代替策の検討のために実施したアンケート結果を活用。リハビリ専門職の関わり方について対面にこだわらず拡充を図る。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 68頁～を参照

2) (中目標)いきがい活動・社会参加の促進

ア 有償ポイントに関する取組状況

| 目標項目 | | 第7期 令和2年度 | 第8期 | | | |
|-------------------------------|----|--------------|-------------|----------------|-----------|-----|
| | | | 令和3年度 評価 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | |
| 介護予防活動ポイント交換者 (活動者数) (人/年) | 目標 | — | 140 | C | 210 | 350 |
| | 実績 | 177 | 208 | | ※10月末集計予定 | — |

イ 人が集う居場所づくりに関する取組状況

| 目標項目 | | 第7期 令和2年度 | 第8期 | | | |
|-----------------------------------|----|--------------|-------------|----------------|------------|-------|
| | | | 令和3年度 評価 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | |
| はつらつカフェ設置数 (か所) | 目標 | — | 27 | C | 28 | 29 |
| | 実績 | 26 | 26 | | 28 | — |
| 体操クラブ活動数 (クラブ) | 目標 | — | 70 | C | 73 | 76 |
| | 実績 | 67 | 66 | | 64 | — |
| 認知症カフェ(はつらつカフェ含む) 延べ参加者数 (人/年) | 目標 | — | 1,000 | B | 2,500 | 6,000 |
| | 実績 | 1,258 | 5,647 | | 55(認知症カフェ) | — |
| その他の住民主体の通いの場の把握数 (か所) | 目標 | — | 30 | D | 45 | 60 |
| | 実績 | 0 | 20 | | ※10月末集計予定 | — |
| 老人福祉センター利用者満足度 (%) | 目標 | — | 93 | C | 94 | 95 |
| | 実績 | 92 | 91 | | ※年度末集計 | — |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 68頁～を参照

2) (中目標)いきがい活動・社会参加の促進

◎主な課題と対策

ア 有償ポイント

「介護予防活動ポイント制度」

(課題)

新型コロナウイルス感染拡大により、登録者の活動機会の減少や、活動へのモチベーション維持。

(対策)

- ・活動の幅が広がる活動条件の緩和を継続。
- ・ポイント対象となるスキルアップ研修を企画運営。
- ・モチベーション維持のため、交換分に達しなかった4ポイントを次年度に繰り越し可能とする対策を実施。

➤ 2) いきがい活動・社会参加の促進 の評価

| R3 | |
|-----|----|
| 平均点 | 評価 |
| 6.0 | C |

イ 人が集う居場所づくり

「はつらつカフェ、認知症カフェ」

(課題)

情報交換会を開催し、コロナ禍でも継続している団体の取組について共有を図った。また、活動を支援する補助金対象を見直し、活動を始めやすい要件にした。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大によって活動中止となり、再開できない団体が未だ多い。また、新規設置が伸びていない。

(対策)

- ・補助制度の要件見直しの周知。
- ・伴走型支援事業(※)の開始に併せて新規設置。
- ・会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催の仕組みをつくり、感染状況に関わらず安定した参加者数を確保し、新規参加者数も増やす。
- ・一方で、スマホやパソコンに慣れていない人のために、電話や手紙といった方法も残しつつ、少人数で繋がることのできる(通える)方法等、幅を広げていく。

※「認知症伴走型支援事業」

地域の介護サービス事業所等を活用し、認知症の人とその家族に対する専門的な相談・助言等を日常的かつ継続的に行う伴走型支援拠点の整備を支援する。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

3 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 74頁を参照

3) (中目標)高齢者の健康づくり

・介護予防と保健事業の連携

| 目標項目 | | 第7期 | 第8期 | | | | |
|------------------------|-------|-------|-------|-----|----------------|-----------|-----|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | |
| | | | 評価 | | | | |
| ①ハイリスクアプローチ: 圏域ごと1~2人 | (人/年) | 目標 | — | 110 | B | 145 | 200 |
| ②ポピュレーションアプローチ: 1圏域20人 | | 実績 | — | 87 | | ※10月末集計予定 | — |

① 低栄養のリスク(BMI18.5以上20.0以下かつ前年度健診より2Kg以上体重減少のあるもの)へ6か月間に3回訪問指導する。

(内訳)①HRA: 12人

②PLA: 実施圏域3、参加者累計75人

② 住民が主体的に集うふれあいきいきサロンに専門職が出向き、フレイル予防教室、フレイルの把握、気軽に相談できる環境づくり、関係機関への繋ぎを行う。

◎主な課題と対策

(課題)

- ① 低栄養リスクの認識が薄く、訪問や指導を拒否する事例があった。また、新型コロナウイルス感染拡大により訪問間隔が空き、一環した栄養指導が行えなかった。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大により、2圏域で開催中止となった。また、事務作業に長時間を要したものの、相談に繋がった件数は4件のみ。

(対策)

- ① 低栄養リスクの認識を持てるよう、事前送付しているチラシの内容を見直し。
・訪問間隔を概ね3か月に短縮するとともに、訪問の目的や予定を理解しやすい資料の作成。
- ② 開催できなかった場合の対応として、開催圏域に限定せず市内全ての後期高齢者に、健診受診案内時に、フレイル予防と相談先を周知するチラシを同封。
・市社会福祉協議会と協力し、実施圏域の集いの場の開催状況(参加の年齢や内容等)を事前に把握し、開催に向けた準備を十分に行う。

➤ 3) 高齢者の健康づくり の評価

| R3 | |
|-----|----|
| 平均点 | 評価 |
| 8.0 | B |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

4 目標Ⅳ 認知症高齢者支援の充実

※第8期まえばしスマイルプラン 75頁～を参照

1) (中目標)認知症との共生

ア 認知症に対する理解

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|----------------------|----|-------|-------|----------------|-------|----|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | 評価 |
| (認知症ケアパス) 市民への配布数 | 目標 | 6,000 | 8,150 | 8,200 | 8,250 | A |
| | 実績 | 6,000 | 6,800 | 4,000 | — | |

イ 認知症高齢者等見守りネットワーク整備事業の成果

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|---------------------------------|----|--------|--------|----------------|--------|----|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | 評価 |
| SOSネットワーク体制の構築 | | | | | | |
| 累計事前登録者数 (人) | 目標 | — | 490 | 500 | 520 | A |
| | 実績 | 439 | 478 | 488 | — | |
| まちの安全ひろメール登録者数 (人) | 目標 | — | 16,900 | 17,000 | 17,100 | D |
| | 実績 | 17,017 | 16,970 | 17,041 | — | |
| SOSネットワーク事業による 発見率 (%) | 目標 | — | 18 | 22 | 26 | C |
| | 実績 | 10 | 5 | 6 | — | |
| GPS端末貸出事業 | | | | | | |
| 行方不明後1時間以内に 発見された延べ件数割合 (%) | 目標 | — | 80 | 82 | 84 | A |
| | 実績 | 82 | 91 | 73 | — | |
| 介護負担が軽減した介護者数 (アンケートによる) (人) | 目標 | — | 20 | 23 | 26 | A |
| | 実績 | — | 28 | 12 | — | |
| 認知症地域支援推進員等設置事業 | | | | | | |
| 認知症に関する相談件数 (件/年) | 目標 | — | 2,150 | 2,200 | 2,250 | A |
| | 実績 | 4,057 | 4,221 | ※10月末集計予定 | — | |
| 認知症サポーター養成 | | | | | | |
| 認知症サポーター養成数 (人/年) | 目標 | — | 800 | 900 | 1,000 | A |
| | 実績 | 909 | 1,314 | 875 | — | |

◎主な課題と対策

「認知症ケアパスの活用」

(課題)

①関係機関への配布と介護支援専門員研修会での周知を行った。一方で、市民の認知度や配付後の活用状況が把握しきれていない。

②当事者の意見を取り入れた内容に改善する必要がある。

(対策)

①市民や関係機関に活用状況をアンケート調査を実施し、確認していく。

②本人ミーティングで得た当事者意見を反映していく。

③新規設置場所を開拓していく。

「SOSネットワーク体制の構築」

(課題)

①見守りキーホルダーを所持している行方不明高齢者に関する市民からの問い合わせはごく僅かである。

②未登録者の中にも見守りの必要な人がいる。

③メール登録者は増えているが、メール配信やラジオ放送による効果を測るには実績が不十分。

(対策)

①警察署と意見交換を行い、行方不明者の発見時の運用について課題を抽出していく。

②広報はもちろん、民生委員の定例会やサロン等で事業周知をしていく。

③事業継続とともに、地域での見守り体制の構築のため、地域住民や関係機関の行方不明者の捜索に対する協力意識を高められるよう啓発していく。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

4 目標Ⅳ 認知症高齢者支援の充実

※第8期まえばしスマイルプラン 75頁～を参照

1) (中目標)認知症との共生

◎主な課題と対策

イ 認知症高齢者等見守りネットワーク整備事業の成果

「GPS端末貸出事業」

(課題)

- ・ 携行が困難である利用者への対応。
- ・ 行方不明の高齢者等が自転車等で移動した場合、位置情報が早いペースで変動してしまい、保護までに時間がかかることがある。

(対策)

- ・ 利用終了者へのアンケート結果を介護支援専門員に周知することで、事業の周知と包括的・継続的ケアマネジメント、個別支援の充実化を図る。
- ・ 貸出終了後におけるアンケートを踏まえて、GPSのより良い携帯方法の提案を行い、家族の介護負担軽減を図っていく。
- ・ 行方不明後に早期発見できる体制づくりとして、申請時に登録する緊急連絡先に、家族以外の介護サービス事業所等が登録できることを周知。

「認知症地域支援推進員等設置事業」

(課題)

- ① 認知症の相談件数が急増 ② 複合的な問題を抱えている事案も増加。

(対策)

- ① 相談体制の構築や関係機関との連携がより一層必要となるが、事業の充実はもちろん、地域の実情に合わせた認知症施策を実施するため、各地域包括支援センターにも同推進員を配置していく。
また、伴走型支援拠点(※)を整備し、認知症の人や家族に対する支援体制の充実を図っていく。
※「伴走型支援拠点」とは、地域の事業所等を活用し、認知症の人とその家族に対する専門的な相談・助言等を日常的かつ継続的に行う場所。
- ② 複合的な問題を抱えている事案については、個別ケース会議等で対応していく。

「認知症サポーター養成」

(課題)・キャラバンメイトにオンラインによる養成方法について周知したものの普及されず、市主催以外の養成講座数が未だ少ない。

- ・ 新たな職域に養成講座の周知をしたが、理解が得られたかどうかは不透明。

(対策)・オンライン開催について周知を継続。

- ・ 職域での正しい理解の普及活動を継続。引き続き、キャラバンメイトの協力を得ながら生活関連企業へ普及啓発を広げていく。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

4 目標Ⅳ 認知症高齢者支援の充実

※第8期まえばしスマイルプラン 78頁～を参照

1) (中目標) 認知症との共生

ウ 通いの場の参加者数

| 目標項目 | | 第7期 | 第8期 | | | |
|-----------------------------------|----|-------|-------|----------------|-----------|-------|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | |
| 認知症カフェ(はつらつカフェ含む) 延べ参加者数 (人/年) | 目標 | — | 1,000 | 評価 | 2,500 | 6,000 |
| | 実績 | 1,258 | 5,647 | B | ※10月末集計予定 | — |

エ 認知症本人ミーティング

| 目標項目 | | 第7期 | 第8期 | | | |
|-------------------------|----|-------|-------|----------------|-------|---|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | |
| 本人視点を取り入れた施策の企画・ 立案数 | 目標 | — | 課題抽出 | 評価 | 施策案 | 1 |
| | 実績 | — | 課題抽出 | A | 2 | — |

2) (中目標) 認知症の予防

ア 認知症初期集中支援チーム体制の充実

| 目標項目 | | 第7期 | 第8期 | | | |
|---|----|-------|-------|----------------|-----------|----|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | |
| 支援チームの介入により新たな医療・介 護サービスにつながった人の割合 (%) | 目標 | — | 61 | 評価 | 62 | 63 |
| | 実績 | 82 | 77 | A | ※10月末集計予定 | — |

◎主な課題と対策

「認知症初期集中支援チーム体制の充実」

(課題) 現場で地域包括支援センター職員とチーム員との役割分担が明確でなく、効率の良い支援につながっていない事例があった。また、介入時に既に認知症状の進行があり、対応困難事例も多くあった。いかに初期に把握し早期に対応できるかが課題。

(対策) 管理者会議や、地域包括支援センター職員とチーム員との意見交換の場を設け、事業の利用促進について検討を重ねる。

◎主な課題と対策

「認知症本人ミーティング」

(課題)

本人へのアンケート結果を参考に、協力機関と企画会議を3回重ねた上で開催した。参加者は2名。

本人の声を集める目的で事前アンケートを行ったが、数があまり集まらなかった。

(対策)

- ・関係機関にチラシ配布等の協力依頼。
- ・感染対策及び参加者が足を運びやすい会場の選択。

➤ 1) 認知症との共生 の評価

| R3 | |
|-----|----|
| 平均点 | 評価 |
| 8.8 | A |

➤ 2) 認知症の予防 の評価

| R3 | |
|------|----|
| 平均点 | 評価 |
| 10.0 | A |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

5 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

※第8期まえばしスマイルプラン 82頁～を参照

1) (中目標)介護保険給付対象外の高齢者福祉サービスの確保

ア 介護保険給付対象外の高齢者福祉サービス事業実績

| 目標項目 | | | 第7期 | 第8期 | | | |
|---------------------|----|-----|-------|-------|-----------|----------------|-------|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 |
| | | | | 評価 | | | |
| 高齢者支援配食サービス | | | | | | | |
| 実利用者数 (人/年) | 目標 | — | 690 | B | 700 | 710 | |
| | 実績 | 689 | 673 | | ※10月末集計予定 | — | |
| 生活管理指導短期宿泊 | | | | | | | |
| 利用者数 (人/年) | 目標 | — | 20 | D | 25 | 25 | |
| | 実績 | 13 | 9 | | 2 | — | |
| 緊急通報システム設置件数 (件) | | | | | | | |
| | 目標 | — | 240 | A | 250 | 260 | |
| | 実績 | 266 | 317 | | 339 | — | |
| 電話訪問実登録者数 (人) | | | | | | | |
| | 目標 | — | 70 | D | 75 | 80 | |
| | 実績 | 60 | 57 | | 65 | — | |

➤ 評価

| | |
|-----|----|
| R3 | |
| 平均点 | 評価 |
| 6.4 | B |

イ 介護保険給付対象外の高齢者福祉サービスの周知

| 目標項目 | | | 第7期 | 第8期 | | |
|----------------------|----|---|-------|-------|--------|----------------|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 (上半期) |
| | | | | 評価 | | |
| 高齢者福祉サービスの認知度 (%) | | | | | | |
| | 目標 | — | — | C | 50 | 60 |
| | 実績 | — | 47 | | ※年度末集計 | — |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

5 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

※第8期まえばしスマイルプラン 82頁～を参照

1) (中目標)介護保険給付対象外の高齢者福祉サービスの確保

◎主な課題と対策

ア 介護保険給付対象外の高齢者福祉サービス事業実績

「生活指導短期宿泊」

(課題) ① 受け入れ施設が少ない。

② 要綱改正の変更点について地域包括支援センターに周知をしているが、対象要件外の高齢者の相談を受ける。

(対策) ① 新たな受け入れ施設を検討する。

② 緊急時に連携して早急な対応を行えるよう、地域包括支援センターとの連携用フローチャート作成を検討。管理者会議にて要綱改正の周知を行う。

「緊急通報システム」

(課題) ・緊急通報システム設置件数は増加しているが、緊急通報装置以外の見守り事業の認知度が低く、利用が伸び悩んでいる。

(対策) ・問合せ等があった際、緊急通報以外の見守り事業についても提案し、複数の見守り制度で高齢者が安心して暮らせるよう周知を図る。

「電話訪問」

(課題) ・定期的に安否確認が必要な高齢者にサービス周知ができておらず、新規登録者数の増加に繋がっていない。

(対策) ・チラシの配布、ホームページへの掲載。関係機関への周知、配付依頼。「社協だより」への掲載を検討。

・専門職向け研修会、民生委員児童委員協議会定例会での周知。

・地域包括支援センター職員向けに行ったアンケート結果の活用。

イ 介護保険給付対象外の高齢者福祉サービスの周知

「高齢者福祉サービス」の認知度

(課題) ・高齢者福祉サービスの認知度が50%を下回っておりサービスの周知が必要。

(対策) ・ホームページへの掲載、関係機関へのサービス周知、チラシ等配付依頼。

・サービスをまとめた冊子「高齢者福祉のしおり」を新規に設置する箇所を検討。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

5 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

※第8期まえばしスマイルプラン 88、89、90頁を参照

2) 介護保険サービスの充実

ア 介護保険施設等の整備

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|----------------------------------|----|-------|-------|-------|----------------|-------|
| | | 令和2年度 | | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 |
| | | | | 評価 | | |
| 介護保険施設等の整備 | | | | | | |
| 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) (人) | 目標 | — | 1,959 | A | 1,989 | 1,989 |
| | 実績 | 1,959 | 1,959 | | 1,959 | — |
| 介護医療院 (介護老人保健施設からの転換) (人) | 目標 | — | 65 | A | 65 | 65 |
| | 実績 | 26 | 65 | | 65 | — |
| 特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム) (人) | 目標 | — | 840 | A | 920 | 920 |
| | 実績 | 680 | 810 | | 890※ | — |

➤ 評価

| | |
|-----|----|
| R3 | |
| 平均点 | 評価 |
| 9.4 | A |

イ 地域密着型サービスの整備

※R4.10に80人分を選定

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|-------------------------------|----|-------|-----|-------|----------------|-------|
| | | 令和2年度 | | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 |
| | | | | 評価 | | |
| 地域密着型サービスの整備 | | | | | | |
| 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) (人) | 目標 | — | 504 | A | 522 | 522 |
| | 実績 | 486 | 504 | | 522 | — |
| 小規模多機能型居宅介護 (人) | 目標 | — | 499 | A | 528 | 524 |
| | 実績 | 499 | 499 | | 517 | — |

※施設整備の詳細は23頁以降で説明しています。

ウ リハビリテーション提供体制の確保

| 目標項目 | | 第7期 | | 第8期 | | |
|--|----|-------|-----|-------|----------------|-------|
| | | 令和2年度 | | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 |
| | | | | 評価 | | |
| 地域ケア会議・通いの場でリハビリ専門職 が関わった対象者数 (人/年) | 目標 | — | 350 | C | 600 | 880 |
| | 実績 | 307 | 408 | | ※10月末集計予定 | — |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

5 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

※第8期まえばしスマイルプラン 91頁を参照

3) 介護人材の確保・育成

| 目標項目 | | | 第7期 | 第8期 | | | |
|-----------------|----|----|-------|-------|----|----------------|-------|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 |
| | | | | | 評価 | | |
| 介護に関する入門的研修 | | | | | | | |
| 研修修了者数 (人/年) | 目標 | — | 55 | B | 55 | 55 | |
| | 実績 | 49 | 38 | | 12 | — | |
| 訪問型サービスA従事者養成研修 | | | | | | | |
| 研修修了者数 (人/年) | 目標 | — | 30 | C | 30 | 30 | |
| | 実績 | 0 | 6 | | 16 | — | |

◎主な課題と対策

「介護に関する入門的研修、訪問型サービスA従事者研修」

(課題)

- ① 申込人数が伸び悩んでいる。
- ② 訪問型サービスA従事者研修修了後の就労先が限られており、終了者に向けて実施している雇用説明会に参加する指定事業所が減少している。

(対策)

- ① 広報まえばし及びホームページへの掲載だけでなく、チラシの作成・配付、介護予防サポーターメール配信及び健康増進課にて定期配信している、ヘルスカレッジ通信(大学生向け)を活用して周知を行う。
- ② ・研修修了者に対して、無資格でもできる仕事やボランティアを紹介する。
・指定事業所の雇用における課題への対策として、他市の状況把握を始め、令和3年度末に実施した「訪問型サービスAに関する調査」結果も踏まえて、方向性を検討。

➤ 評価

| R3 | |
|-----|----|
| 平均点 | 評価 |
| 7.0 | B |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

5 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

※第8期まえばしスマイルプラン 89頁、90頁を参照

◆ 介護保険施設・地域密着型サービスの整備目標及び取組状況 ※R4.10.12時点

| 施設(サービス)区分 | 単位 | 第7期計画 (令和2年度末) 実績 | 第8期計画整備数 | | | | | | 総数 (令和4年10月12日時点) | | | |
|------------------------------|-------|-------------------------|----------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------------|-------|-------|-------|
| | | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | 合計 | | 目標 | 実績 | |
| | | | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 目標 | 実績 | | | |
| 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) | 広域型 | 定員 | 1,804 | 0 | - | 30 | 0 | 0 | 30 | 0 | 1,834 | 1,804 |
| | 地域密着型 | 定員 | 155 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | - | 155 | 155 |
| | 合計 | 定員 | 1,959 | 0 | 0 | 30 | 0 | 0 | 30 | 0 | 1,989 | 1,959 |
| 介護老人保健施設 | 定員 | 1,044 | -39 | -39 | 0 | - | 0 | -39 | -39 | 1,005 | 1,005 | |
| 介護医療院 | 定員 | 26 | 39 | 39 | 0 | - | 0 | 39 | 39 | 65 | 65 | |
| 特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム) | 定員 | 680 | 160 | 130 | 80 | 80 | 0 | 240 | 210 | 920 | 890 | |
| 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) | 事業所 | 39 | 1 | 1※1 | 1 | 1※2 | 0 | 2 | 2 | 41 | 40※3 | |
| | 定員 | 486 | 18 | 18 | 18 | 18 | 0 | 36 | 36 | 522 | 513※3 | |
| 小規模多機能型居宅介護 | 事業所 | 18 | 0 | - | 1 | 1※2 | 0 | 1 | 1 | 19 | 19 | |
| | 登録定員 | 499 | 0 | - | 29 | 18 | 0 | 29 | 18 | 528 | 517 | |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 事業所 | 1 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | 登録定員 | 29 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 29 | 29 | |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 事業所 | 3 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | |

※1) 城南・大胡・宮城・粕川圏域を除く市内全域

※2) 認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護の併設、城南・大胡・宮城・粕川圏域を優先

※3) R4.3.31に施設廃止により、-1施設・-9人

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

5 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

◆ 令和3年度 施設整備計画の取組状況

| 施設種別 | 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) | 介護医療院 (介護老人保健施設からの転換) | 特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム) |
|-------------|---------------------------------|--------------------------|---|
| 整備区分 | 新設 | 転換 | 転換 |
| 進 捗 | 選定済 | 選定済 | 選定済 |
| 選定法人 | 株式会社フロンティア | 医療法人社団生方会 | ①社会福祉法人ほたか会 ②グリーンライフ東日本株式会社 ③ちよだ株式会社 |
| 施設名 事業所名 | グループホームウェルスタイル上小出 (R4.7.1開設) | 介護医療院ふえき (R4.4.1転換) | ①介護付有料老人ホームグランポルト前橋 ②グリーンライフ中央前橋 ③介護付有料老人ホームグランヴィル前橋 (各R4.4.1転換) |
| 所在地 | 上小出町二丁目(南橘圏域) | 表町二丁目(北部・中部圏域) | ①昭和町三丁目(北部・中部圏域) ②三河町一丁目(若宮・城東・中川圏域) ③千代田町三丁目(北部・中部圏域) |
| 整備数 | 1施設18人分 | 39人分 | 130人分 |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

5 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

◆ 令和4年度 施設整備計画の取組状況 ※R4.10.12時点

| 施設種別 | 小規模多機能型居宅介護と 認知症対応型共同生活介護の併設 | 特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム) | 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) |
|-------------|---------------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 整備区分 | 新設 | 新設 | 増床 |
| 進 捗 | 選定済 | 選定済 | ※令和4年度中に選定予定 |
| 選定法人 | 株式会社フロンティア | ミモザ株式会社 | — |
| 施設名 事業所名 | ※未定 (R5上半期開設予定) | ※未定 (R5年度中に開設予定) | — |
| 所在地 | 筑井町(城南圏域) | 江田町(東圏域) | — |
| 整備数 | ・小多機:18人分 ・グループホーム:18人分 | 1施設80人分 | 30人分(予定) |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

6 目標VI 安定した介護保険制度の運営

※第8期まえばしスマイルプラン 93頁～を参照

1) (中目標)介護給付の適正化

①要介護認定の適正化

【令和4年度下半期実施予定事業】

| 目標項目 | | | 第7期 | | 第8期 | | |
|----------------|---|----|-------|-------|----------------|-------|----|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 (上半期) | 令和5年度 | |
| ①要介護認定の 適正化 | 調査票の全数点検 | 目標 | — | 全数 | A — | 全数 | 全数 |
| | | 実績 | 全数 | 全数 | | 全数 | — |
| | 認定調査員研修会の実施 (回/年) | 目標 | — | 2 | B (50%) | 2 | 2 |
| | | 実績 | 1 | 1 | | 0 | — |
| | 介護認定審査員研修・連絡調整会議 における各委員の最低参加回数 (回/年) | 目標 | — | 1 | B (100%) | 1 | 1 |
| | | 実績 | 1 | 1 | | 0 | — |
| | 介護認定審査会合議体委員の入替 (回/年) | 目標 | — | 改選 | B — | 1 | 改選 |
| | | 実績 | 1 | 改選 | | 1 | — |

①(認定審査員研修の開催回数)2回

調査員を対象に調査票点検で把握した課題や特に注意すべき調査項目の確認等について研修を実施する。

・直営調査員に対し、タブレット端末による調査への移行に向けた研修会を実施する。

・委託事業所向けに研修資料を作成・配布し、調査の適正化を図る。

①(介護認定審査員研修・連絡調整会議における各委員の最低参加回数)1回

・審査適正化のため、認定結果実績を分析し歪みの検証するとともに、審査会委員研修を実施する。

◎主な課題と対策(令和3年度)

(課題)

- ・調査票は調査に携わる人数が多いため調査における視点の統一が難しく、認定調査における質の維持が課題である。
- ・審査会では書面審査実施に影響される要介護度変更率の低下や合議体ごとの介護度・有効期間等の判定と審査内容のバラつきの解消が課題である。

(対策)

- ・調査票点検の把握と分析結果を調査員へ還元し、調査員を対象に研修会を実施し、調査の適正化を図る。
- ・審査適正化のため、認定結果実績を分析し歪みの検証するとともに、審査会委員に情報伝達及び分析に基づく審査改善に向けた資料を作成・配布する。認定結果実績を分析・検証を行ったうえで、次期の改選までに合議体の編成を整理し、審査の平準化を図る。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

6 目標VI 安定した介護保険制度の運営

※第8期まえばしスマイルプラン 93頁～を参照

1) (中目標)介護給付の適正化

②ケアプランの点検 ③住宅改修等の点検 ④縦覧点検・医療情報との突合

【令和4年度下半期実施予定事業】

| 目標項目 | | | 第7期 | 第8期 | | | |
|----------------|--------------------------------------|----|-------|------------|----------|------------|------------|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | | | | 評価 | (達成率) | (上半期) | |
| ②ケアプランの点検 | ケアプラン点検数 (うち、有老等に焦点を当てた点検数) (件/年) | 目標 | — | 60 (0) | B (123%) | 80 (20) | 80 (20) |
| | | 実績 | 73 | 74 (11) | | 0 | — |
| ③住宅改修等の点検 | 住宅改修における現地調査数 (件/年) | 目標 | — | 4 | B (100%) | 4 | 4 |
| | | 実績 | 8 | 4 | | 1 | — |
| | 福祉用具貸与における実態調査数 (件/年) | 目標 | — | 1 | B (100%) | 1 | 1 |
| | | 実績 | 2 | 1 | | 1 | — |
| ④縦覧点検・医療情報との突合 | 点検帳票数 (件/年) | 目標 | — | 5 | B (100%) | 5 | 5 |
| | | 実績 | 5 | 5 | | 4 | — |
| | 医療情報との突合月数 (件/年) | 目標 | — | 毎月実施 | B — | 毎月実施 | 毎月実施 |
| | | 実績 | 毎月実施 | 毎月実施 | | 毎月実施 | — |

②(ケアプラン点検数)80件

・各システムから事業所及び対象者を抽出・選定し、ケアプラン点検を行う。その中で居宅サービス(有老等)利用者の点検を重点的に実施する。※上半期は準備作業のみで0件になっており、下半期に点検を実施する。

③(住宅改修の現地調査数)3件

・現地調査を実施するとともに、申請書による確認が困難な改修以外のものについても、現地調査の実施を検討する。

④(縦覧点検数)1帳票

・国保連に委託している4帳票以外の残り6帳票について1帳票の点検を実施する。また、残りの帳票でより効果が高い帳票の点検方法を検討する。

◎主な課題と対策(令和3年度)

②ケアプランの点検

(課題) 居宅サービス(有老等)利用者が併設する事業所を利用したサービス給付が多いため、ケアプラン点検の抽出方法が課題である。

(対策) 各システムを活用して様々な視点から対象者の抽出を行う。また、居宅サービス(有老等)利用者の点検を重点的に実施する。

③住宅改修等の点検(住宅改修)

(課題) より住宅改修の適正な実施をしていくために、調査件数の増加を検討する。

(対策) 疑義が生じた申請以外のものについても、無作為に抽出し抜き打ちでの現地調査の実施を検討する。

④縦覧点検・医療情報との突合(縦覧点検)

(課題) より効果が高い帳票を点検できるよう点検帳票数の増加が可能かどうか検討する。

(対策) 目標値とした5帳票以外の、残りの5帳票の活用方法を研究する。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

6 目標VI 安定した介護保険制度の運営

※第8期まえばしスマイルプラン 93頁～を参照

1) (中目標)介護給付の適正化

⑤介護給付費通知の送付 ⑥給付実績の活用 ⑦その他の適正化事業

| 目標項目 | | | 第7期 | | 第8期 | | | |
|-------------|-------------------------|----|-----------|----------|-------|--------|----------|---------|
| | | | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| | | | | 評価 | (達成率) | (上半期) | | |
| ⑤介護給付費通知の送付 | 周知方法の工夫 (件/年) | 目標 | — | 周知方法の検討等 | B | — | 検討結果の実施 | 検討結果の実施 |
| | | 実績 | 広報・ホームページ | 周知方法の検討等 | | | 周知方法の検討等 | — |
| ⑥給付実績の活用 | 事業所単位での確認・指導回数 (回/年) | 目標 | — | 1 | B | (100%) | 2 | 2 |
| | | 実績 | 0 | 1 | | | 0 | — |
| ⑦その他の適正化事業 | 説明会の開催回数 (回/年) | 目標 | — | 1 | B | (0%) | 1 | 1 |
| | | 実績 | 0 | 0 | | | 0 | — |

【令和4年度下半期実施予定事業】

⑥(事業所単位での確認・指導回数)2回
 ・各システムを活用して事業所の傾向に基づいた対象事業所を抽出・決定し、事業所単位でのケアプラン点検等を行う。また、そのほかのシステムを活用した抽出・選定方法を引き続き検討する。

⑦(説明会の開催回数)1回
 ・下半期に説明会を開催予定だが、コロナ渦で開催できるか不透明であるため、対面での説明会を開催できない場合の説明会の実施方法や情報の周知方法等を検討する。

◎主な課題と対策(令和3年度)

⑤介護給付費通知の送付

- (課題) 実施した周知方法について、効果の検証方法が難しい。
- (対策) 市民からの問い合わせ内容や回数を把握し、実施前と比較する。

⑥給付実績の活用

- (課題) 活用を検討していたパッケージシステムから、想定した事業所の傾向等を抽出できないため、対象事業所の抽出方法を再考する必要がある。
- (対策) 活用を検討していたシステム以外に、ケアプラン分析システムを活用した抽出などで、対象事業所の抽出方法を検討する。

⑦その他の適正化事業

- (課題) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため説明会の開催を中止し、ホームページ上の資料掲載のみとなったため、事業所ごとに理解にばらつきがある状態となった。
- (対策) 説明会の開催日程の再検討やオンライン上での説明会の開催を検討する。

➤ 中目標の評価

| R3 | |
|-----|----|
| 平均点 | 評価 |
| 8.0 | B |

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

7 まとめ(大目標の評価)

目標Ⅰ 地域における連携強化

- ・医療との連携強化を進めた一方で、地域包括支援センターの利用者は伸び悩んでいる。
- ・引き続き地域包括支援センターの認知度向上を図りながら、地域の関係機関や多職種、住民との連携強化を目指す。

目標Ⅱ 高齢者を支える生活支援体制の構築

- ・目標を達成している事業は多いものの、生活支援体制整備に関しては、町社協設立に向けた支援を強化するとともに、地域資源情報の収集、活用を促進させる必要がある。
- ・成年後見制度の利用や虐待防止等に対し、対応方法を改善するための検討を続けている。

目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、予定どおりに行えていない事業がある。
- ・コロナ禍でも目標に向けた効果を意識しながら、代替となる方法を検討、実施し続けている。

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

② 目標への取組状況について

7 まとめ(大目標の評価)

目標Ⅳ 認知症高齢者支援の充実

- ・多くで目標は達成しているものの、メール配信や緊急ラジオ放送等のSOSネットワーク事業による発見率が伸びず、事業評価方法の検討や事業の効果自体を検証する必要がある。
- ・本人ミーティングを重ね、本人や介護者の意見を取り入れた施策について、認知症地域支援推進員を中心に検討を続けていく。

目標Ⅴ サービスの充実と暮らしの基盤の整備

- ・各種高齢者福祉サービスに対する認知度が低い傾向にあるため、周知方法の改善が必要。
- ・おおむね計画どおりに施設整備を実施しており、並行して介護人材の確保・育成についても、研修実施や雇用支援を継続している。

目標Ⅵ 安定した介護保険制度の運営

- ・要介護認定の適正化及び介護給付の適正化を計画どおり実施し、概ね目標は達成した。介護サービス事業者の適正化への理解が深まり、適切なサービス利用の実施につながった。
- ・目標を見据えて適正化事業を継続して実施するとともに、より良い施策の実施・検討を続ける。